

テブコナゾール水和剤 シルバキュアフロアブル	取扱メーカー： バイエル、ホクサン 原体メーカー： バイエル
成分： テブコナゾール〔エルボステロール生合成阻害剤 PRTR・1種〕…40.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 作物への安全性が高いフロアブル製剤である。
- 予防効果、治療効果の両方を有し、残効性にも優れる散布適期の広い薬剤である。
- 赤さび病、赤かび病、うどんこ病に高い効果を示す。
- 赤かび病菌が産生するデオキシニバレノール(DON)に対する抑制効果がある。
- 穂の仕上がりがきれいになる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 散布液調製の前に容器をよく振る。
- 秋播き小麦でのうどんこ病の防除適期は、分けつ期～幼穂形成期である。赤かび病の散布適期は、出穂期～成熟期前までである。
- 小麦に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

【薬効・薬害等の注意】

- 耐性菌出現防止のため、同系統の薬剤の連続した散布をさける。
- 周辺農作物に対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意する。

【安全対策上の注意】

- 眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	テブコナゾールを含 む農薬の総使用回数			
小 麦	雪腐小粒菌核病	16 倍	0.8 ℓ	根雪前	1 回	無人航空機 による散布	3 回以内 (根雪前は 1 回以内、 融雪後は 2 回以内)			
		500 倍	25 ℓ			散布				
		1000～ 2000 倍	60～150 ℓ							
	なまぐさ黒穂病	1000 倍		7 日前 まで	2 回以内			無人航空機 による散布		
	赤かび病 赤さび病	2000 倍				25 ℓ			散布	
		500 倍	0.8 ℓ							
		うどんこ病						2000 倍		60～150 ℓ
	16 倍					0.8 ℓ				
	黒点病 黒変病		2000 倍					60～150 ℓ	散布	
大 麦	網斑病 うどんこ病 赤かび病 黒点病 黒変病	16 倍					0.8 ℓ			無人航空機 による散布
	うどんこ病 赤かび病									
	てんさい		葉腐病			2000 倍		100～120 ℓ	前日まで	
たまねぎ	褐色病	2000～ 3000 倍	7 日前 まで							
ばれいしょ	夏疫病	2000 倍		100～300 ℓ	は種前	1 回	種子吹き付 け処理又は 塗抹処理	1 回		
飼料用えんばく	裸黒穂病	600 倍	種子 1kg 当り 希釈液 30 ml	は種前	1 回	種子吹き付 け処理又は 塗抹処理	1 回			
豆類（種実、 但し、だいず、 らっかせいを 除く）	菌核病	2000 倍	100～300 ℓ	7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
だ い ず	黒根腐病	200 倍	100 ℓ	出芽 4 週 間後以降 但し、収 穫 7 日前 まで		株元散布				